

# 協会けんぽ茨城支部 二次医療圏別患者受療動向調査

(平成28年度)

平成28年4月～平成29年3月診療分のレセプトデータ（6,060,643件）から患者の受療動向を分析し、二次医療圏別の地域医療構想調整会議の参考資料とすることを目的としています。

※同一人のレセプトが2枚以上ある場合、レセプト枚数を患者数としております。

※患者居住地は、その被保険者の住所地としており、居住地等が不明なレセプトは集計の対象外としております。

※患者は協会けんぽ全支部の加入者であり、茨城支部の加入者に限っておりません。

## 【目次】

### <流出状況>

◆全疾病（入院）	3
◆全疾病（入院外）	4
◆糖尿病（入院）	5
◆糖尿病（入院外）	6
◆悪性新生物（入院）	7
◆悪性新生物（入院外）	8
◆虚血性心疾患（入院）	9
◆虚血性心疾患（入院外）	10
◆脳卒中（入院）	11
◆脳卒中（入院外）	12
◆精神疾患（入院）	13
◆精神疾患（入院外）	14

### <流入状況>

◆全疾病（入院）	17
◆全疾病（入院外）	18
◆糖尿病（入院）	19
◆糖尿病（入院外）	20
◆悪性新生物（入院）	21
◆悪性新生物（入院外）	22
◆虚血性心疾患（入院）	23
◆虚血性心疾患（入院外）	24
◆脳卒中（入院）	25
◆脳卒中（入院外）	26
◆精神疾患（入院）	27
◆精神疾患（入院外）	28

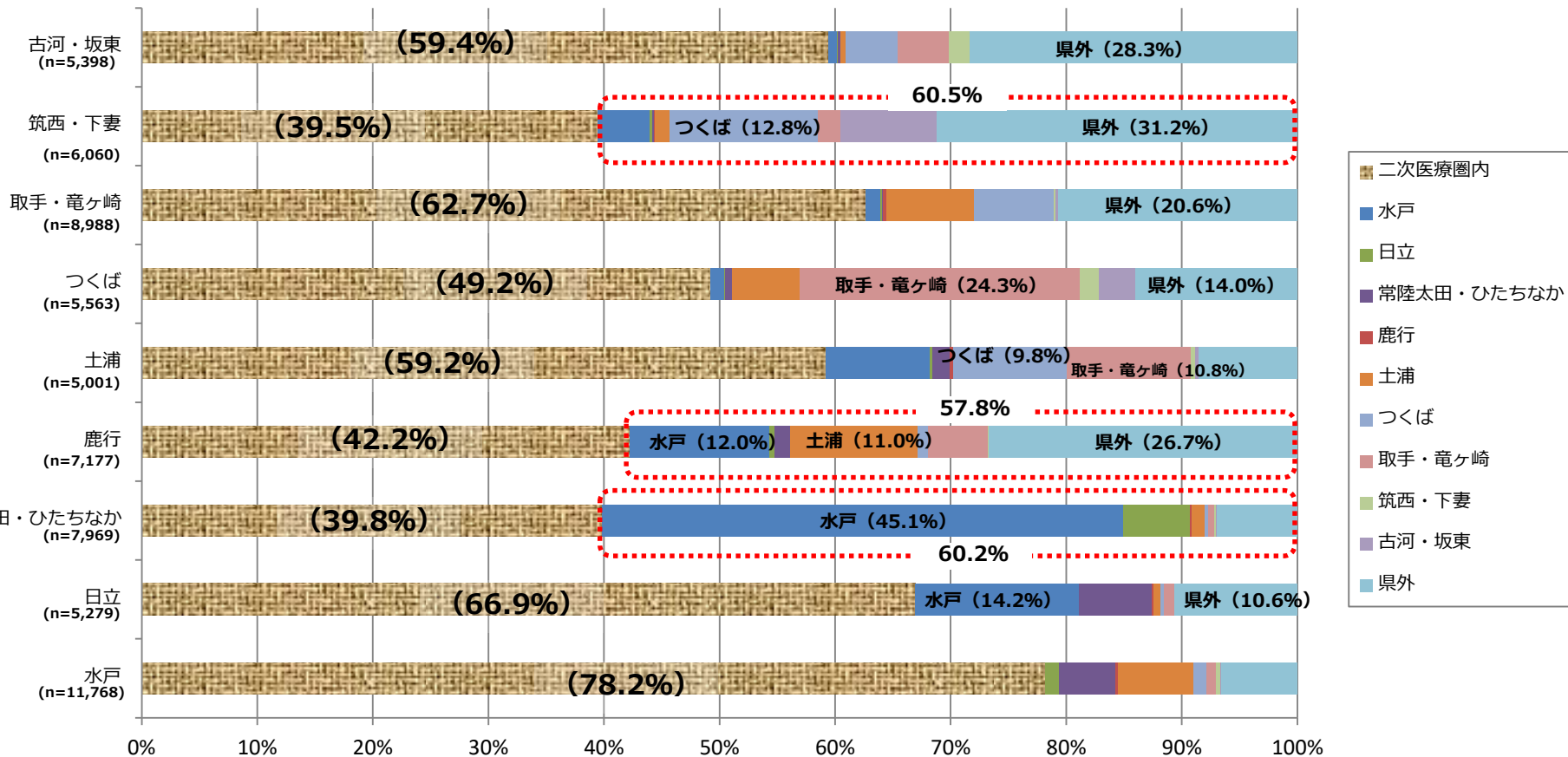
## 【流出状況】

- ・ 患者の居住地ごとに、どの地域の医療機関を受診しているか、割合を算出しております。

- ◆ 筑西・下妻、鹿行、常陸太田・ひたちなかでは患者の流出傾向が強く、特に常陸太田・ひたちなかの患者は45%が水戸の医療圏で受診している。
- ◆ 県北や鹿行では水戸に、県南・県西ではつくば、取手・竜ヶ崎に流出する傾向がある。
- ◆ 県西や県南、鹿行では県外の医療機関で入院する傾向があり、医療資源が不足している可能性がある。

【患者の居住地】

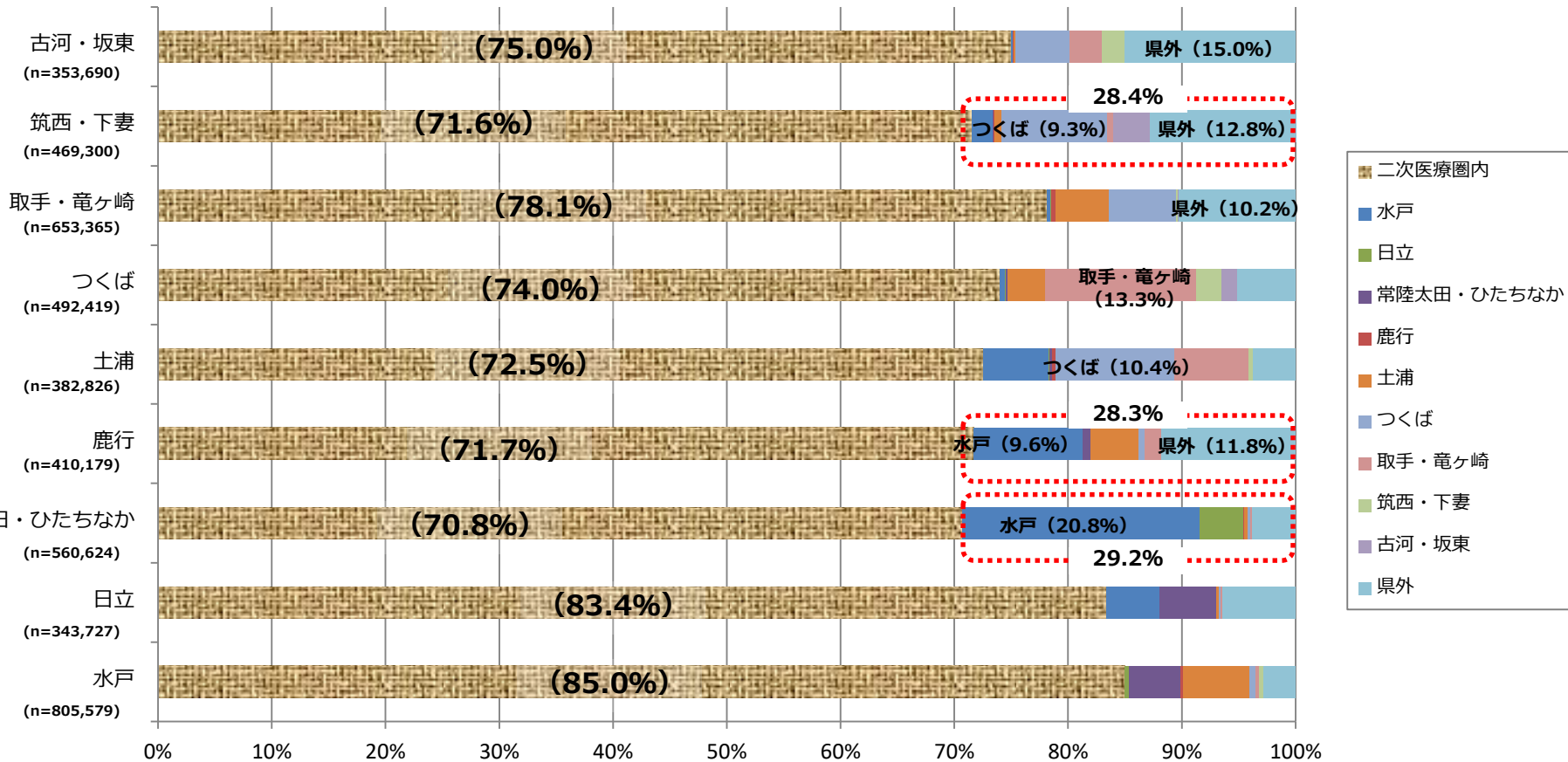
【医療機関の所在地】



- ◆ 筑西・下妻、鹿行、常陸太田・ひたちなかでは患者の流出傾向が強く、特に常陸太田・ひたちなかでは2割以上が水戸の医療圏に流出している。
- ◆ 鹿行から水戸に、土浦や筑西・下妻からつくばに、つくばから取手・竜ヶ崎に流出する傾向がある。
- ◆ 県西や県南、鹿行では県外への流出傾向がある。

【患者の居住地】

【医療機関の所在地】

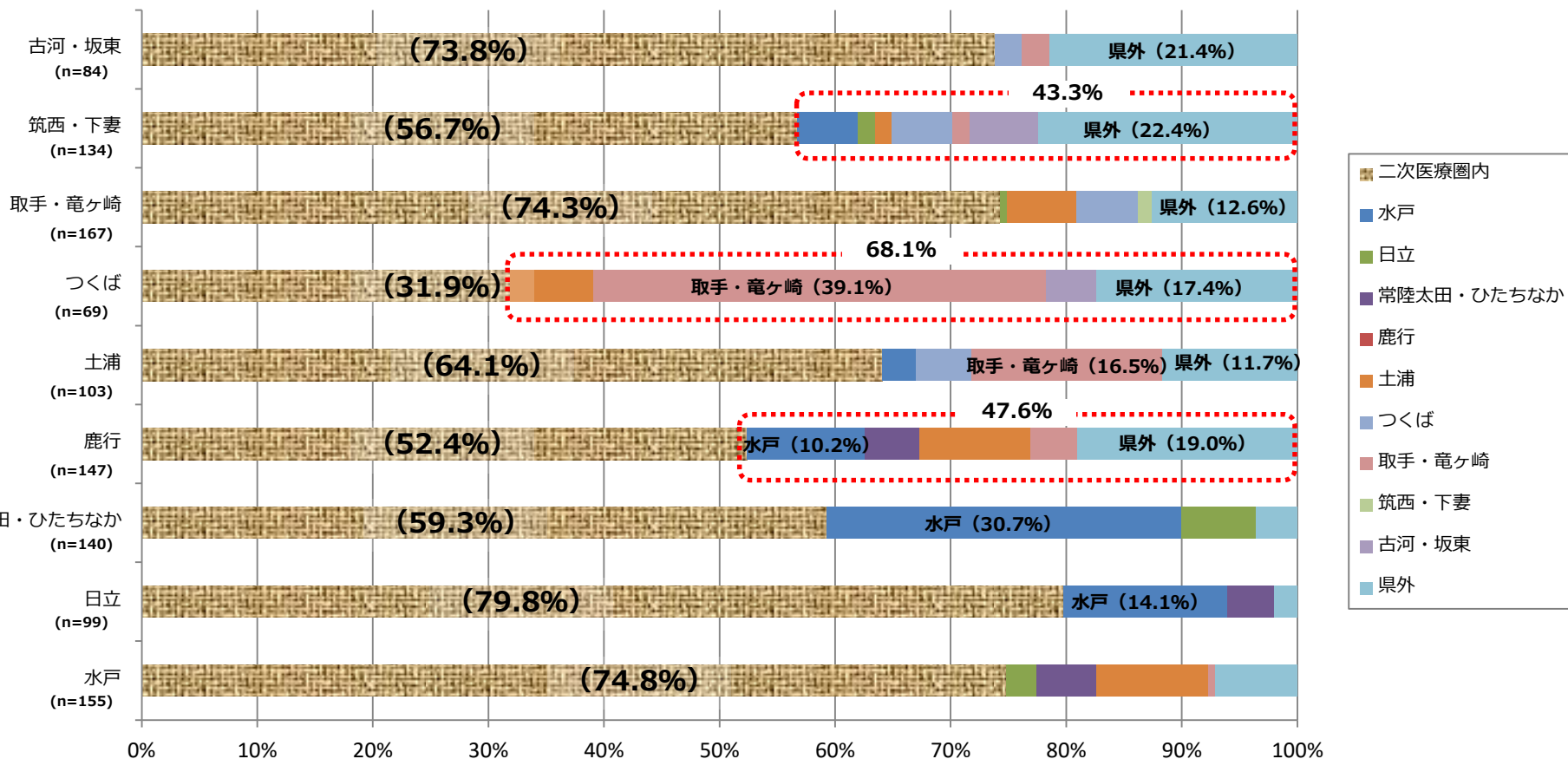


- ◆ 県北や鹿行では水戸に、県南や県西ではつくばの医療機関を受診する傾向がある。特に、常陸太田・ひたちなかでは3割近くが水戸の医療機関を受診している。
- ◆ つくば、土浦では取手・竜ヶ崎の医療機関を受診する傾向がある。特に、つくばでは3割以上が取手・竜ヶ崎の医療機関を受診している。
- ◆ 県西や鹿行では県外の医療機関を受診する動きも見られる。

(※) 全体の母数が少ないので、あくまでも参考として考える必要がある。

【患者の居住地】

【医療機関の所在地】

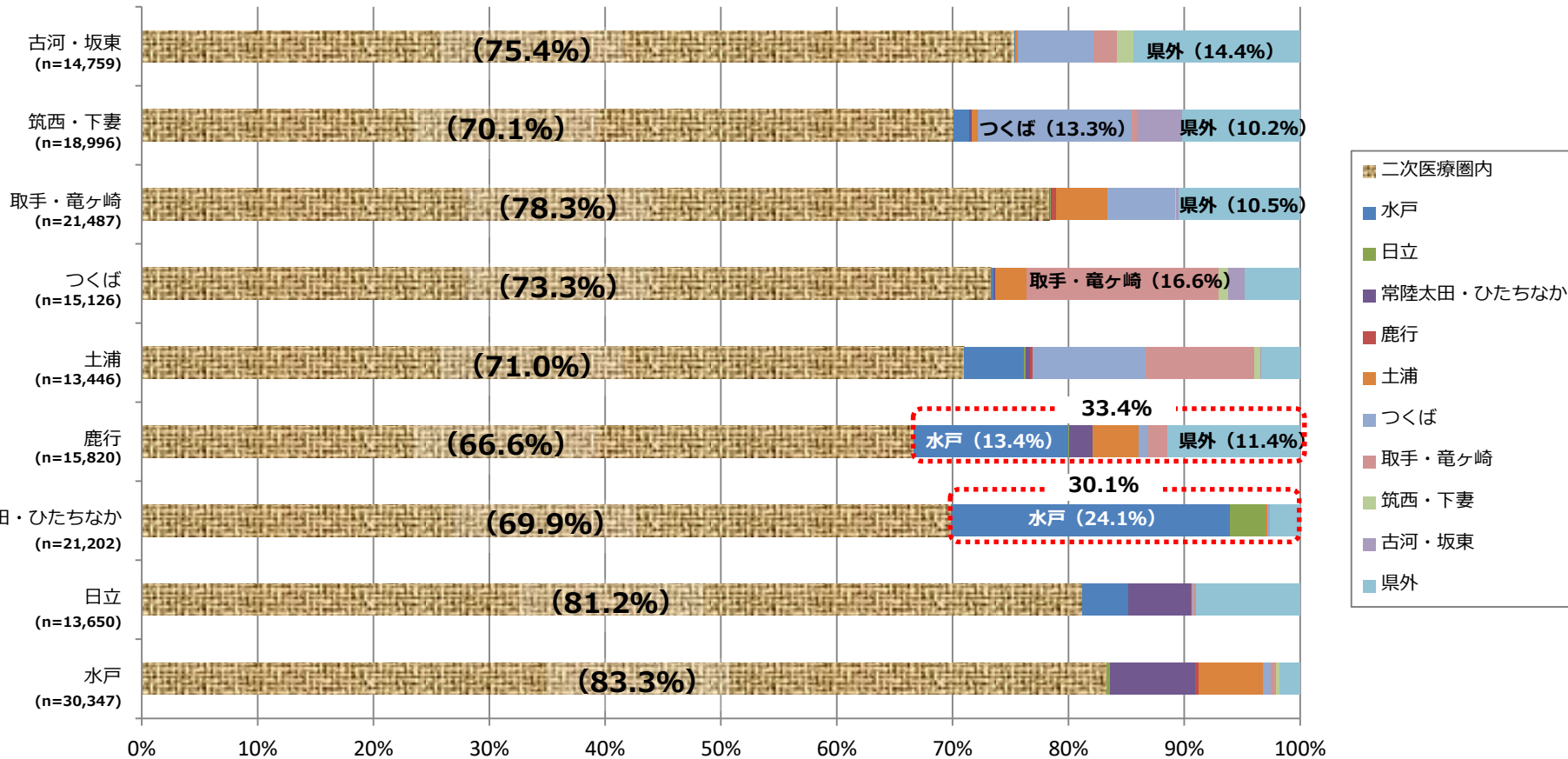




- ◆ 鹿行、常陸太田・ひたちなかでは3割以上の患者が他の医療圏に流出しており、特に常陸太田・ひたちなかでは24.1%が水戸の医療機関を受診している。
- ◆ 県西、県南、鹿行では県外の医療機関を受診する動きも見られる。
- ◆ 筑西・下妻、土浦からつくばへ流出する一方、つくばから取手・竜ヶ崎への流出も見られる。

【患者の居住地】

【医療機関の所在地】

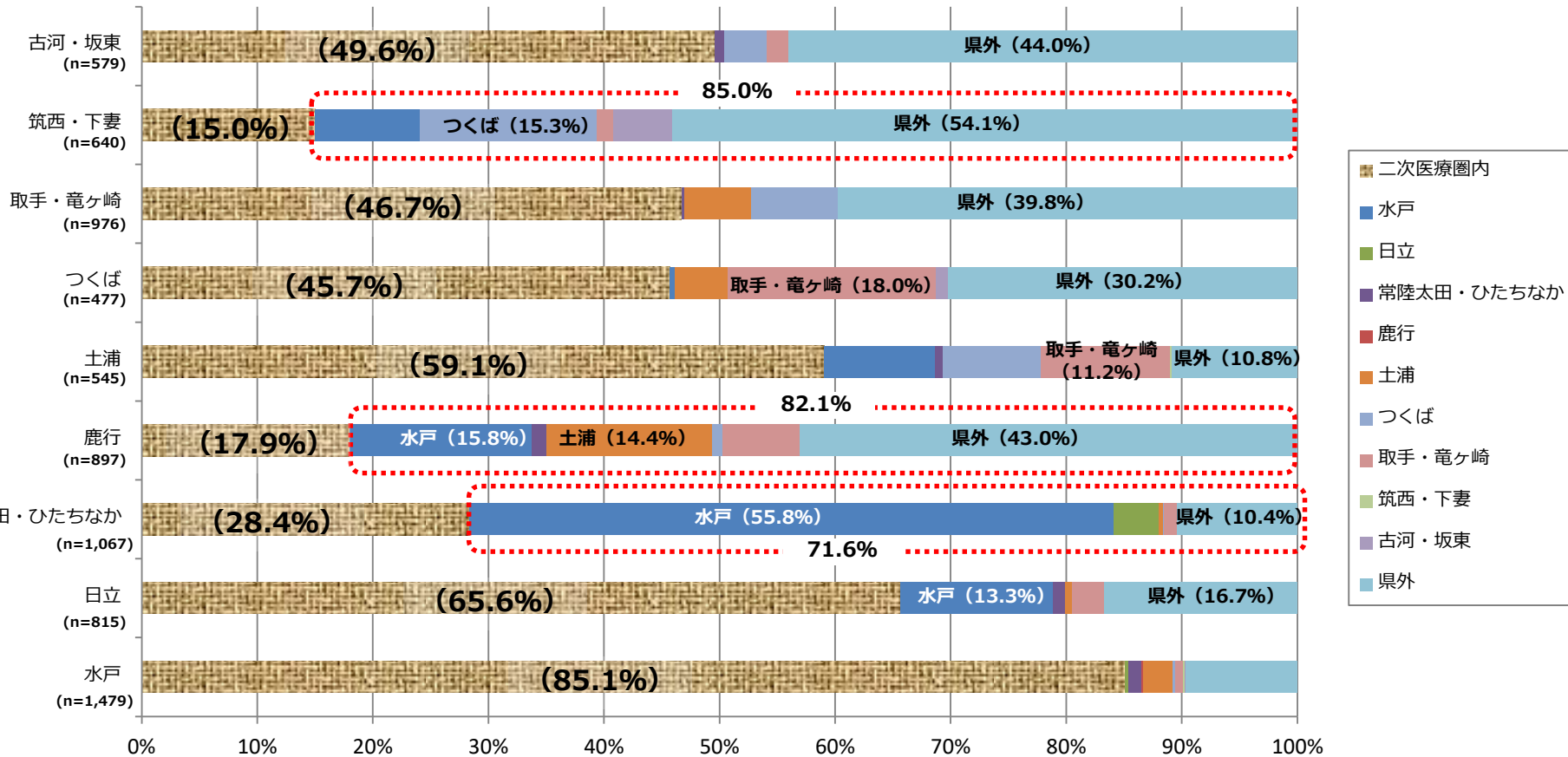


◆ 日立、水戸以外の医療圏では患者の流出傾向が強く、県外への流出の他、県北や鹿行では水戸へ、県南では取手・竜ヶ崎への流出が目立つ。特に、筑西・下妻、鹿行、常陸太田・ひたちなかでは約7割～8割が流出している。

◆ 古河・坂東、筑西・下妻では4割以上が県外に、常陸太田・ひたちなかでは5割以上が水戸に流出している。

【患者の居住地】

【医療機関の所在地】



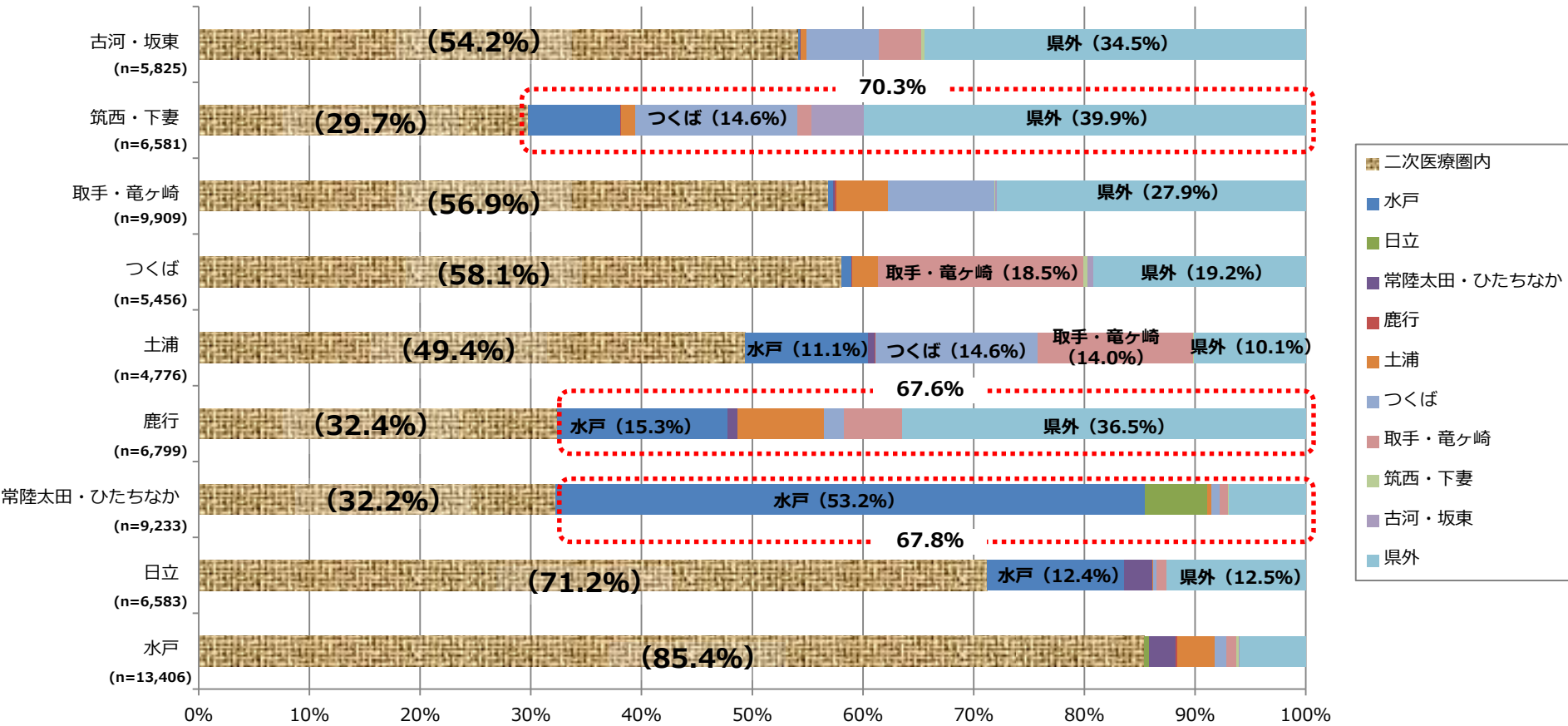


# 悪性新生物：入院外（n=68,568）

- ◆入院と同様に、日立、水戸以外の医療圏では患者の流出傾向が強く、県外への流出の他、県北や鹿行では水戸へ、県西や県南では取手・竜ヶ崎、つくばへの流出が目立つ。特に、筑西・下妻、鹿行、常陸太田・ひたちなかでは6割～7割近くが流出している。
- ◆古河・坂東、筑西・下妻、鹿行では3割以上が県外に、常陸太田・ひたちなかでは5割以上が水戸に流出している。
- ◆入院と傾向が同じであり、退院後も同じ医療機関を受診している可能性が高い。

【患者の居住地】

【医療機関の所在地】

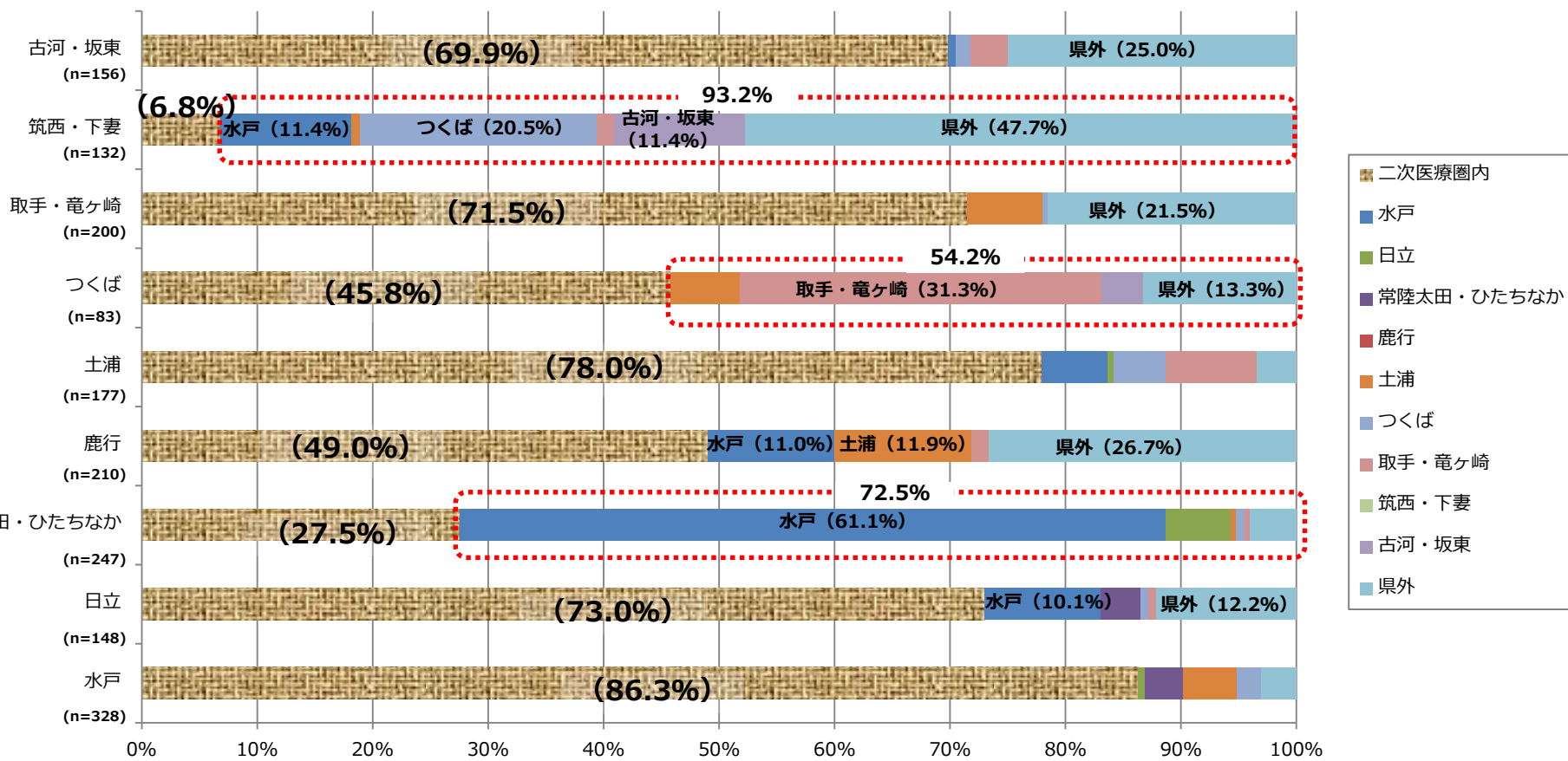


- ◆ 筑西・下妻、つくば、常陸太田・ひたちなかでは患者の流出傾向が強く、特に筑西・下妻では9割以上が流出している。
- ◆ 筑西・下妻の流出先は、つくば、県外で占められており、常陸太田・ひたちなかでは6割以上が水戸に、古河・坂東、取手・竜ヶ崎、鹿行では2割が県外に流出している。
- ◆ 県北、鹿行では水戸に、県西、県南ではつくばに流出する傾向があるなか、つくばから取手・竜ヶ崎への流出もみられる。

※全体の母数が少ないので、あくまでも参考値として考慮する必要がある。

【患者の居住地】

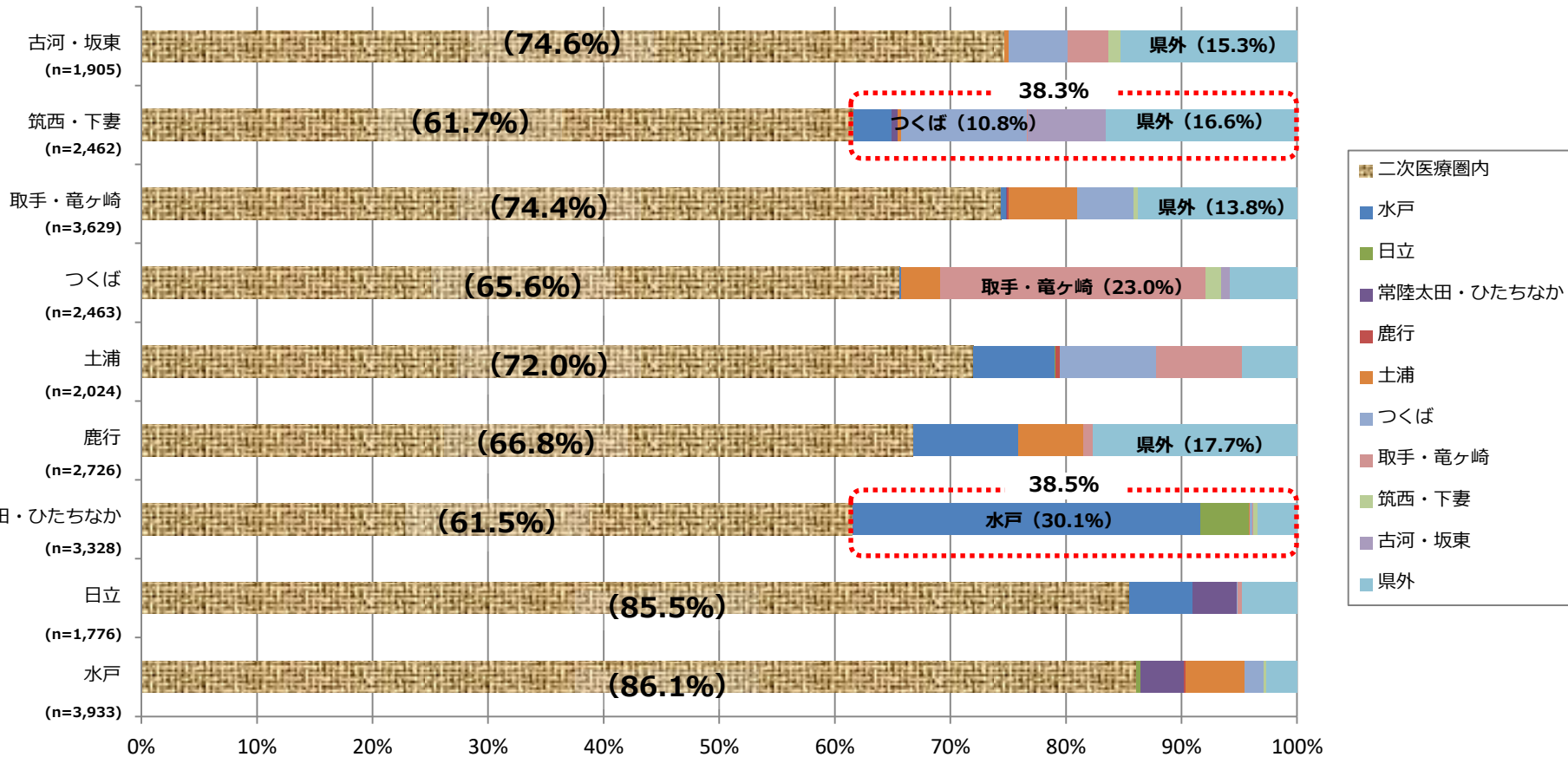
【医療機関の所在地】



- ◆ 筑西・下妻、常陸太田・ひたちなかでは患者の流出傾向が強く、特に常陸太田・ひたちなかでは3割以上が水戸の医療圏に流出している。
- ◆ 県西、県南ではつくばに流出する傾向があるなか、つくばから取手・竜ヶ崎への流出も目立つ。
- ◆ 県西や県南、鹿行では県外の医療機関を受診する動きも見られる。

【患者の居住地】

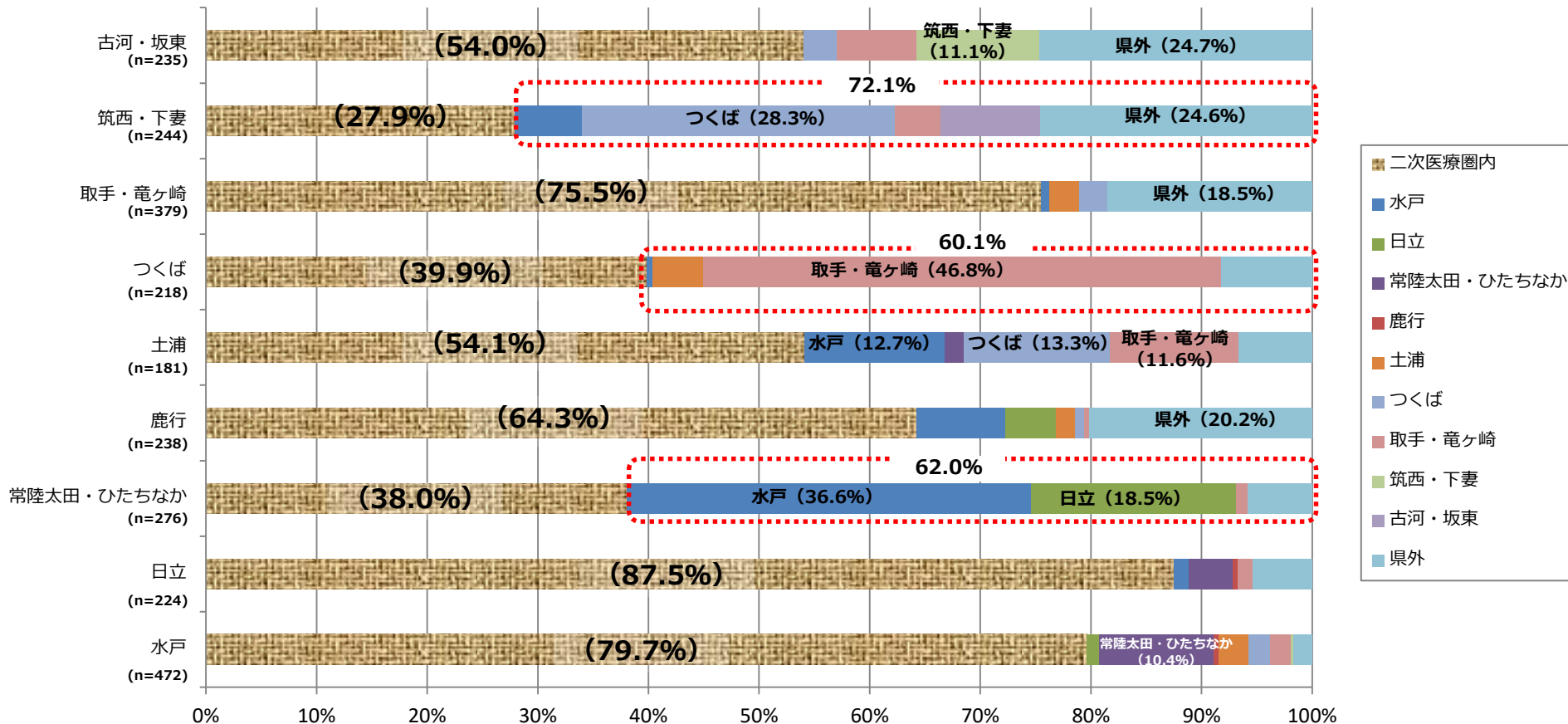
【医療機関の所在地】



- ◆筑西・下妻、つくば、常陸太田・ひたちなかでは患者の流出傾向が強く、特に筑西・下妻で7割が流出している。
- ◆筑西・下妻ではつくば、県外へ、つくばでは取手・竜ヶ崎へ、常陸太田・ひたちなかでは水戸への流出が多数を占めている。
- ◆県北、鹿行では水戸に、県西、県南ではつくばに流出する傾向があるなか、つくばから取手・竜ヶ崎へ、水戸から常陸太田・ひたちなかへの流出もみられる。

【患者の居住地】

【医療機関の所在地】

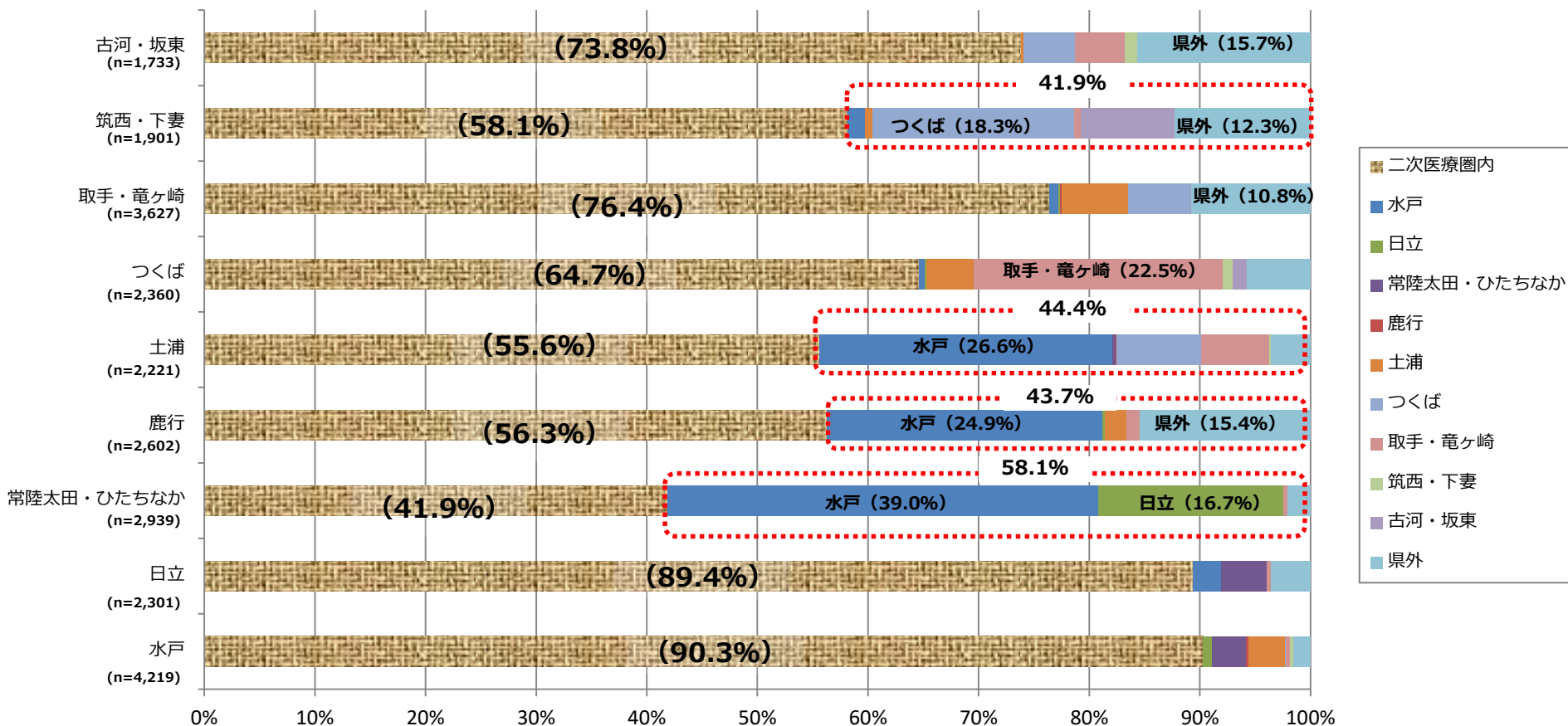




- ◆ 筑西・下妻、土浦、鹿行、常陸太田・ひたちなかでは患者の流出傾向が強く、筑西・下妻ではつくばへ、土浦、鹿行、常陸太田・ひたちなかでは水戸への流出が多数を占めている。
- ◆ つくばから取手・竜ヶ崎への流出が見られる。
- ◆ 県西や県南、鹿行では県外の医療機関を受診する動きも見られる。

【患者の居住地】

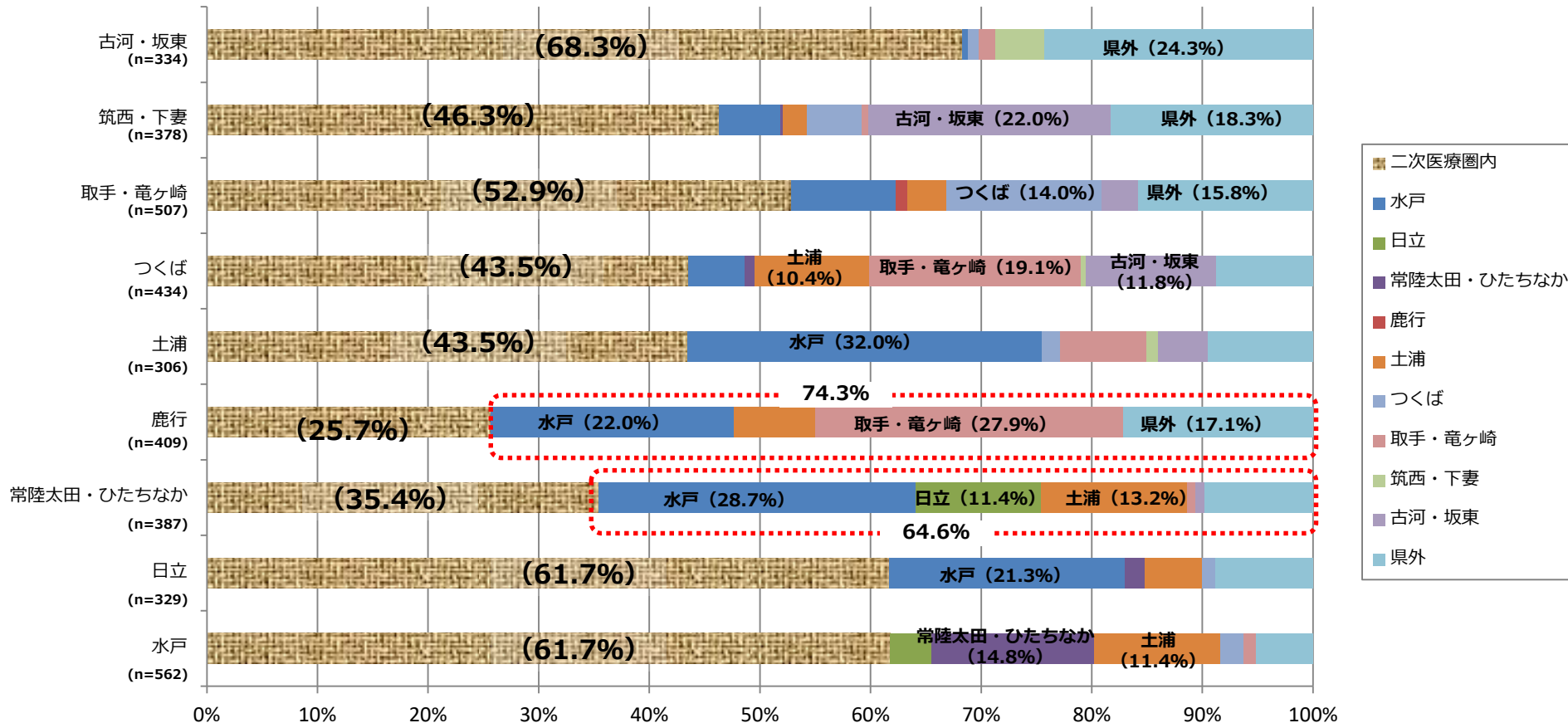
【医療機関の所在地】



- ◆ 全体的に流出傾向が強いなか、特に鹿行と常陸太田・ひたちなかでは6割～7割近くが流出している。
- ◆ 県西や県南ではつくば、取手・竜ヶ崎、古河・坂東へ、鹿行では取手・竜ヶ崎へ、県北では水戸への流出が多数を占めるなか、県外への流出や土浦への流出もあり、流出先は多岐に渡っている。
- ◆ 常陸太田・ひたちなかから日立への流出、水戸から常陸太田・ひたちなかへの流出も見受けられる。

【患者の居住地】

【医療機関の所在地】

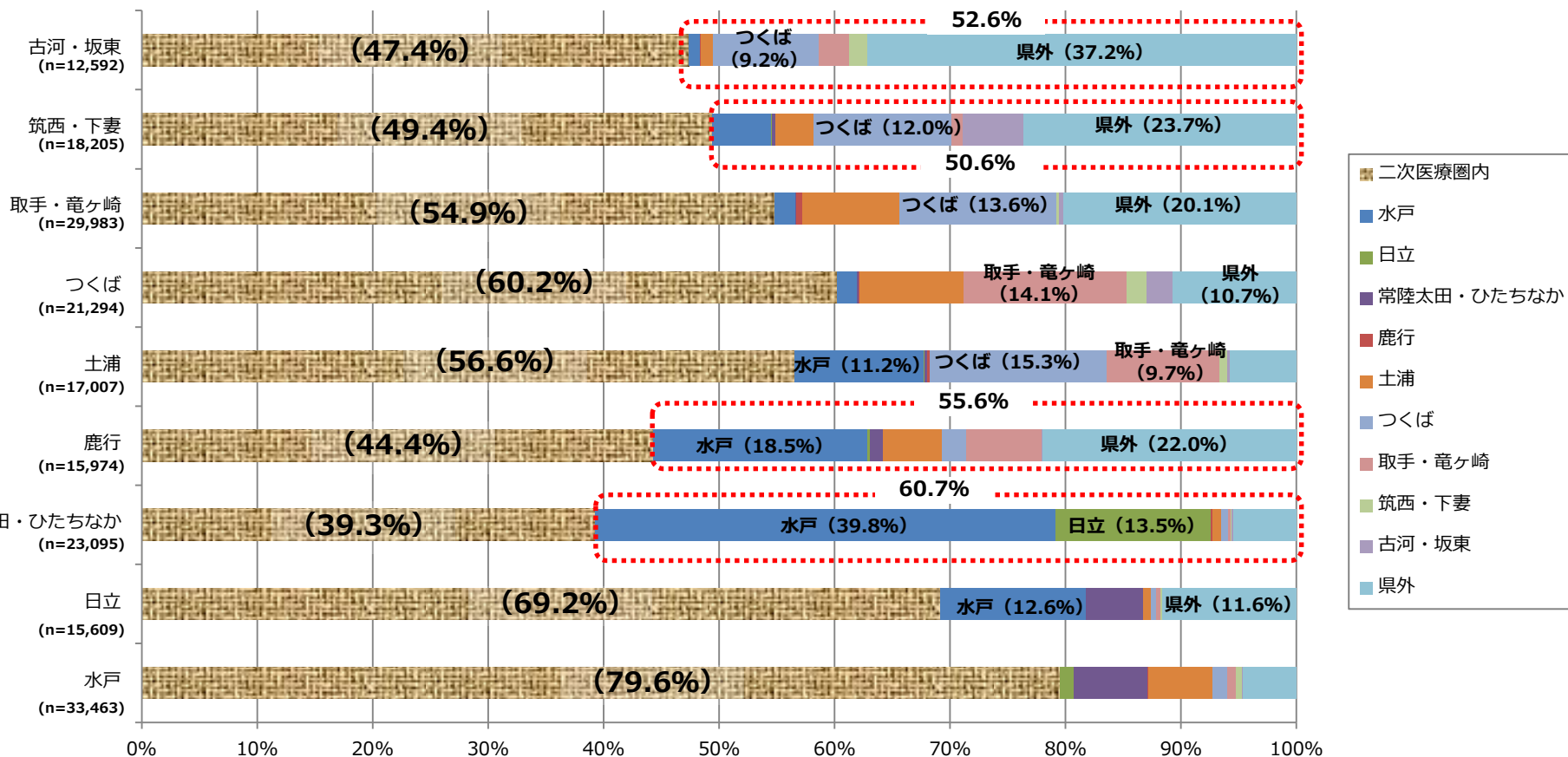




- ◆全体的に流出傾向にあるなか、古河・坂東、筑西・下妻、鹿行、常陸太田・ひたちなかでは5割～6割近くが流出している。
- ◆県西、県南ではつくばや取手・竜ヶ崎へ、県北、鹿行では水戸へ流出する傾向があるなか、県外への流出も目立つ。
- ◆入院に比べ、県外へ流出する割合が大きい。

【患者の居住地】

【医療機関の所在地】





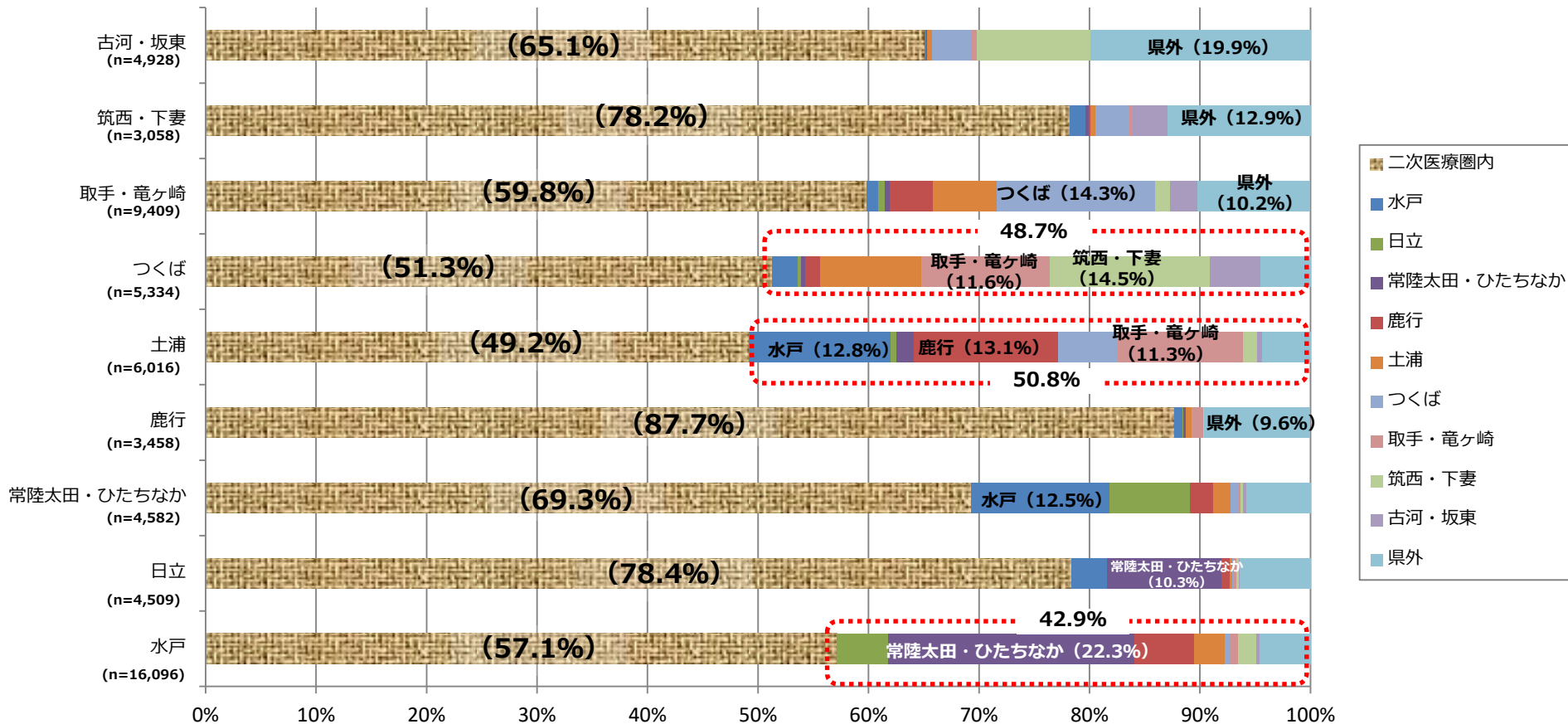
## 【流入状況】

- ・ 医療機関の所在地域ごとに、どの地域から患者が受診しているか、割合を算出しております。

- ◆つくば、土浦、水戸の医療機関には他医療圏からの患者流入が多く、特に土浦では5割を占める。
- ◆水戸医療圏では、常陸太田・ひたちなかから2割以上の流入がある。
- ◆県西や県南、鹿行では県外からの流入も見られる。

【医療機関の所在地】

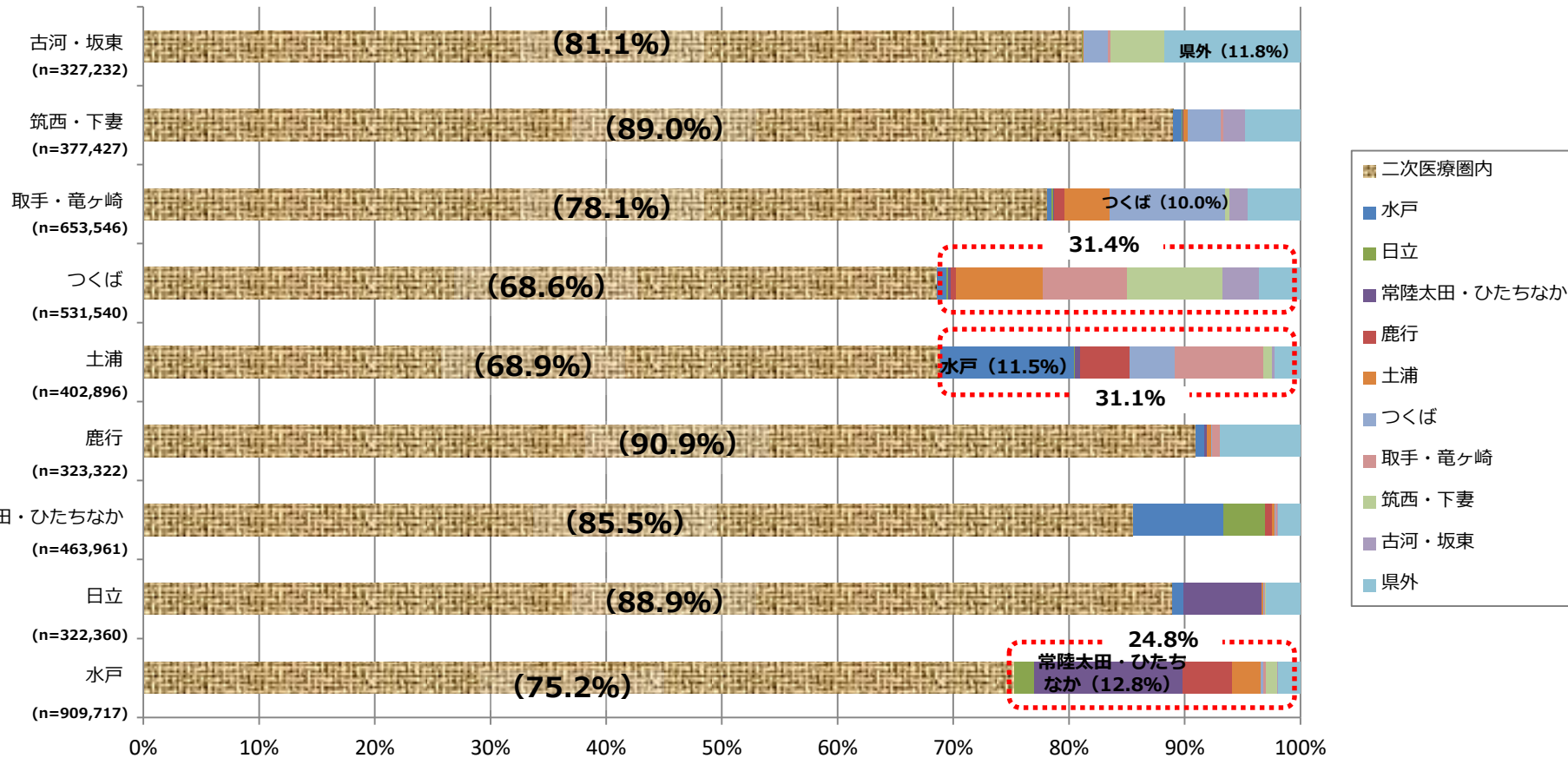
【患者の居住地】



- ◆つくば、土浦、水戸の医療機関は、比較的他医療圏からの患者流入が多く、つくば、土浦では3割を超える。
- ◆水戸の医療機関には、常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。
- ◆古河・坂東では県外からの流入も見られる。

【医療機関の所在地域】

【患者の居住地域】

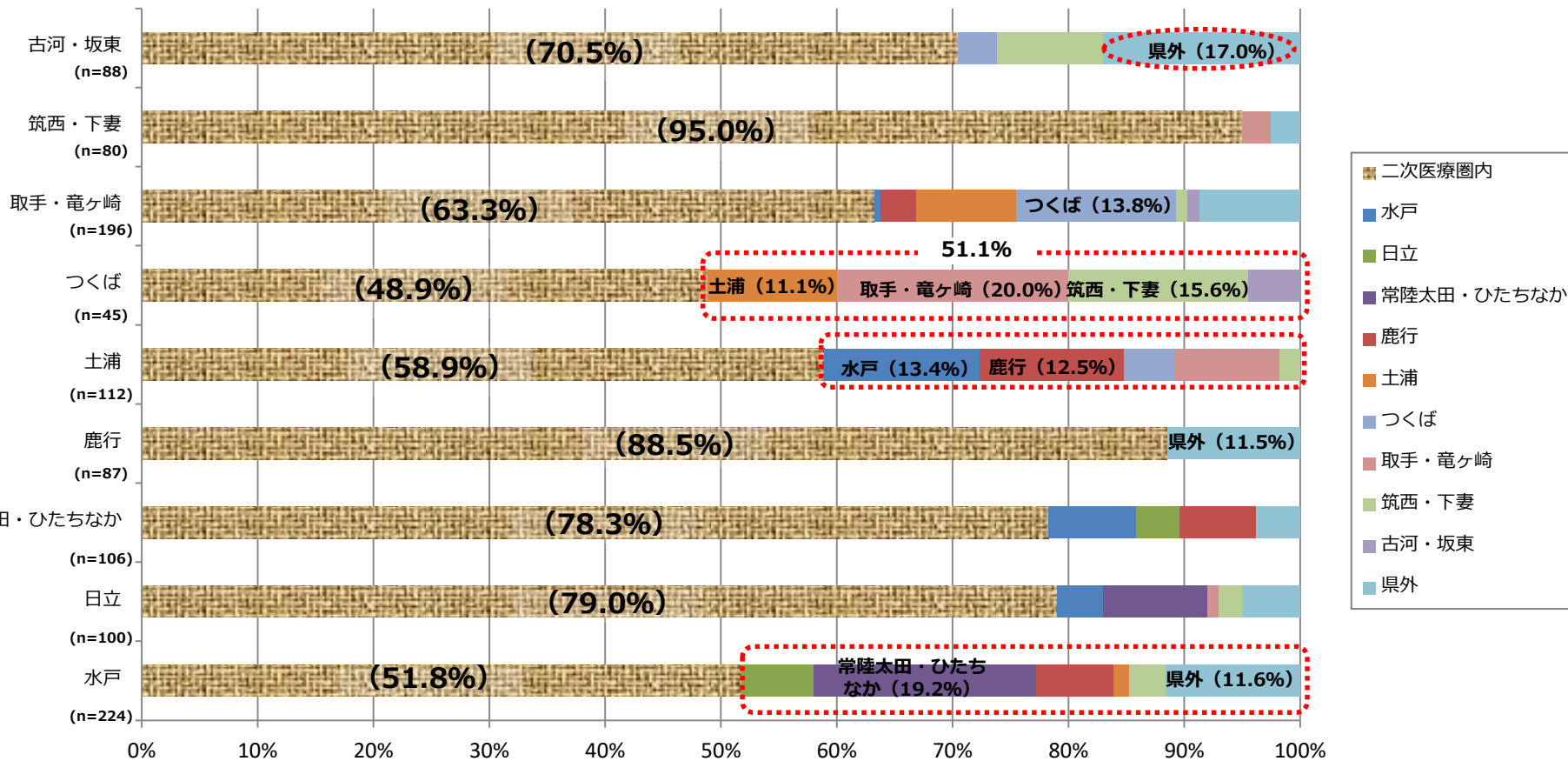


- ◆つくばでは、土浦、取手・竜ヶ崎、筑西・下妻などから5割以上の患者が流入している。
- ◆土浦、水戸も比較的他の医療圏からの流入が多く、土浦では水戸や鹿行から、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。
- ◆古河・坂東では、県外からの流入も見られる。
- ◆筑西・下妻では、他医療圏からの流入はほとんど見られない。

(※) 全体の母数が少ないので、あくまでも参考として考える必要がある。

【医療機関の所在地域】

【患者の居住地域】

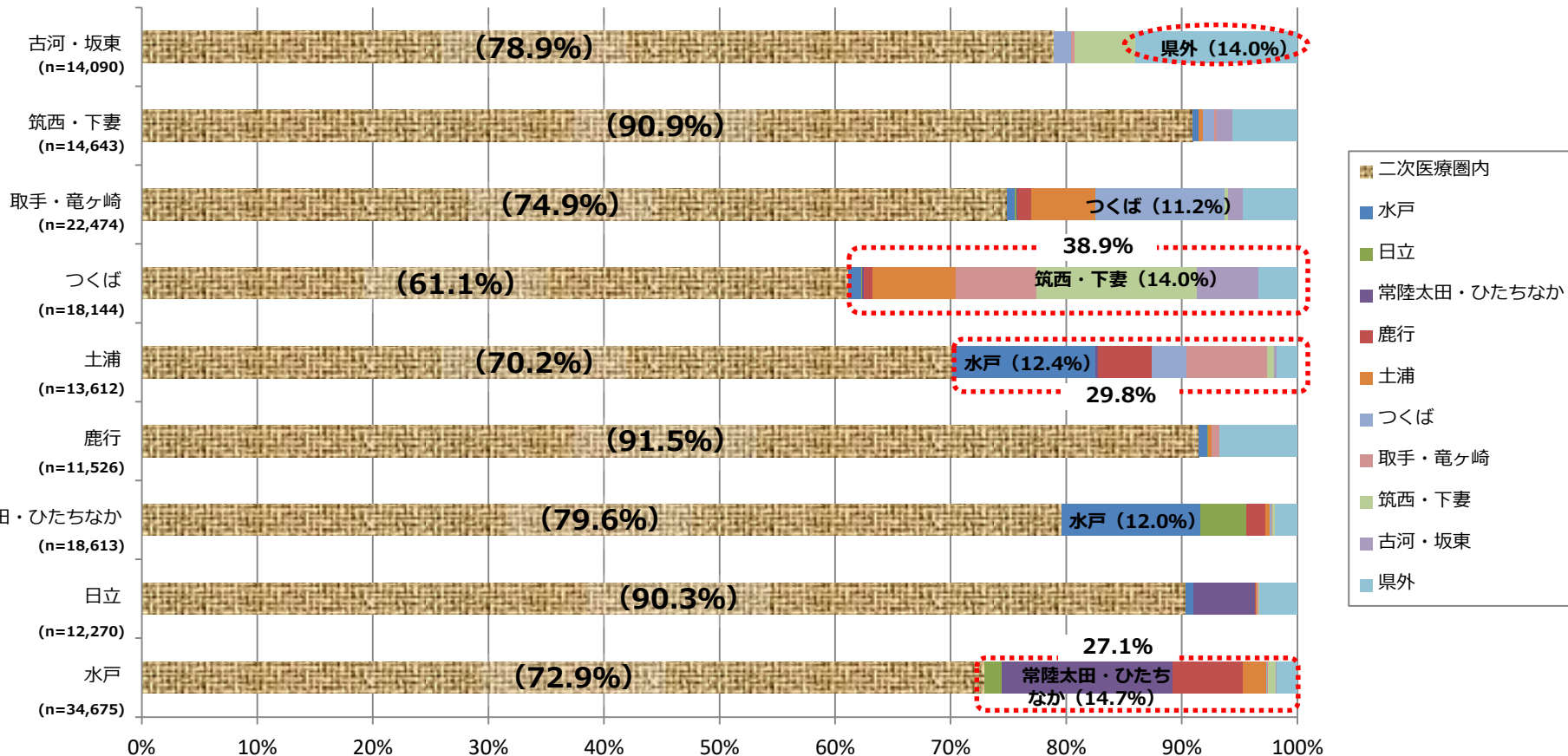




- ◆つくばでは、土浦や筑西・下妻などから約4割近くの患者が流入している。
- ◆土浦、水戸も比較的他の医療圏からの流入が多く、土浦では水戸から、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。
- ◆古河・坂東では、県外からの流入も見受けられる。
- ◆筑西・下妻、鹿行、日立では、他医療圏からの流入はあまり見られない。

【医療機関の所在地】

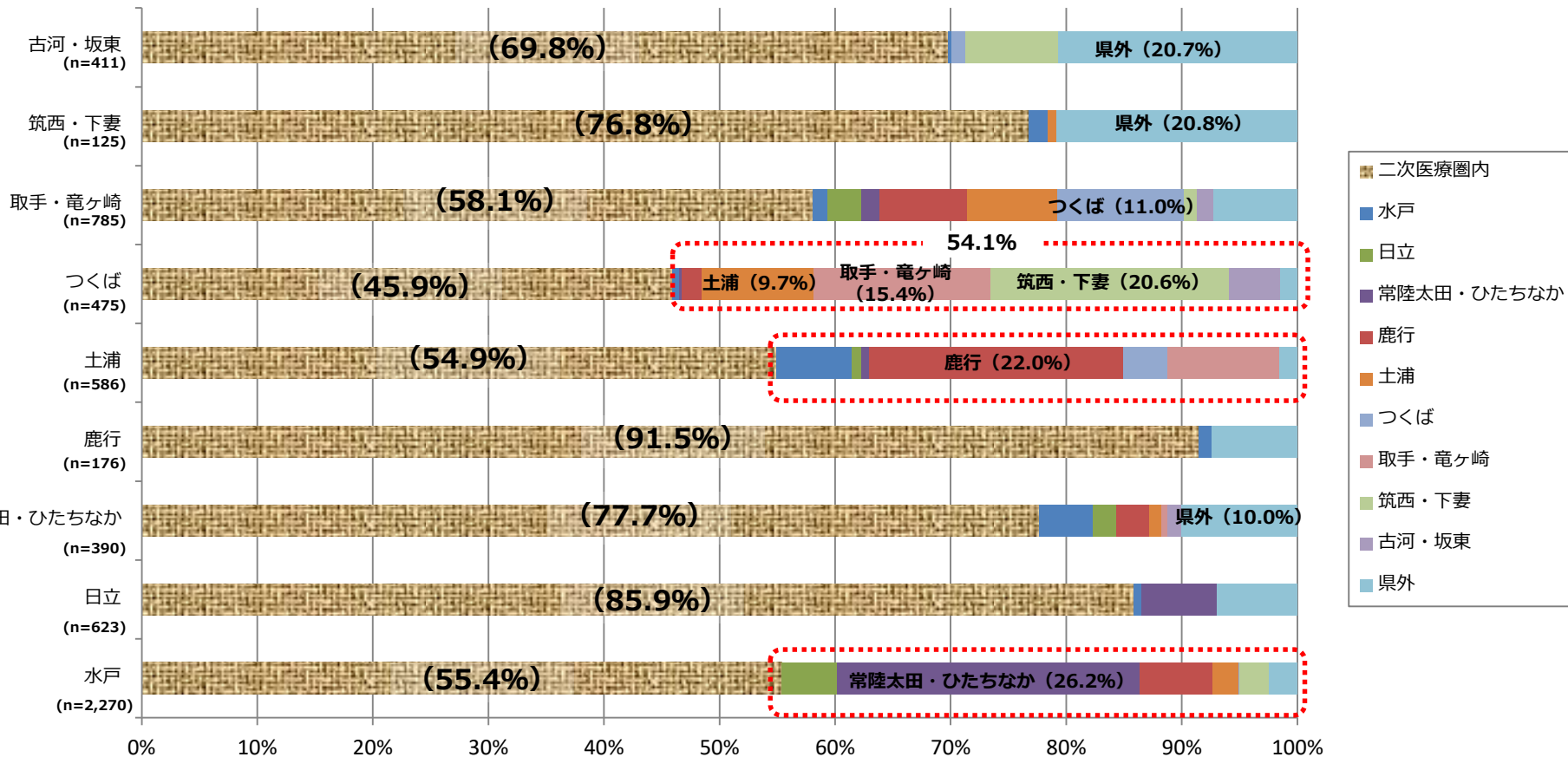
【患者の居住地】



- ◆つくばの医療機関には、土浦、取手・竜ヶ崎、筑西・下妻などから5割以上の患者が流入している。
- ◆土浦、水戸も比較的他の医療圏からの流入が多く、土浦では水戸や鹿行、取手・竜ヶ崎から、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。
- ◆古河・坂東、筑西・下妻では、県外からの流入も見られる。
- ◆鹿行や日立では、他医療圏からの流入はほとんど見られない。

【医療機関の所在地】

【患者の居住地】

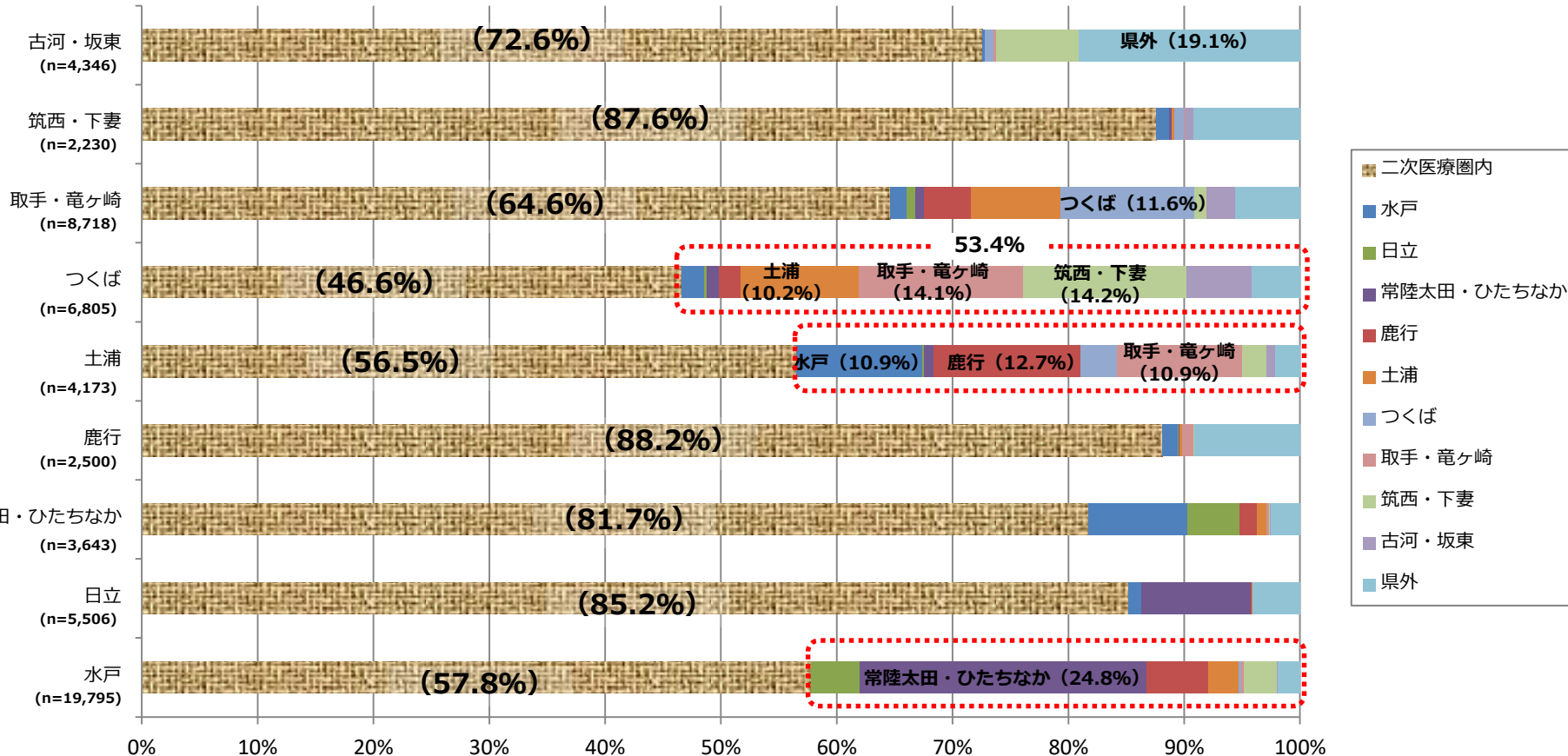


# 悪性新生物：入院外（n=57,716）

- ◆入院と同様に、つくばの医療機関には、土浦、取手・竜ヶ崎、筑西・下妻などから5割以上の患者が流入している。
- ◆土浦、水戸も比較的他の医療圏からの流入が多く、土浦では水戸や鹿行、取手・竜ヶ崎から、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。
- ◆古河・坂東では、県外からの流入も見られる。
- ◆入院と傾向が同じであり、退院後も同じ医療機関を受診している可能性が高い。

【医療機関の所在地】

【患者の居住地】



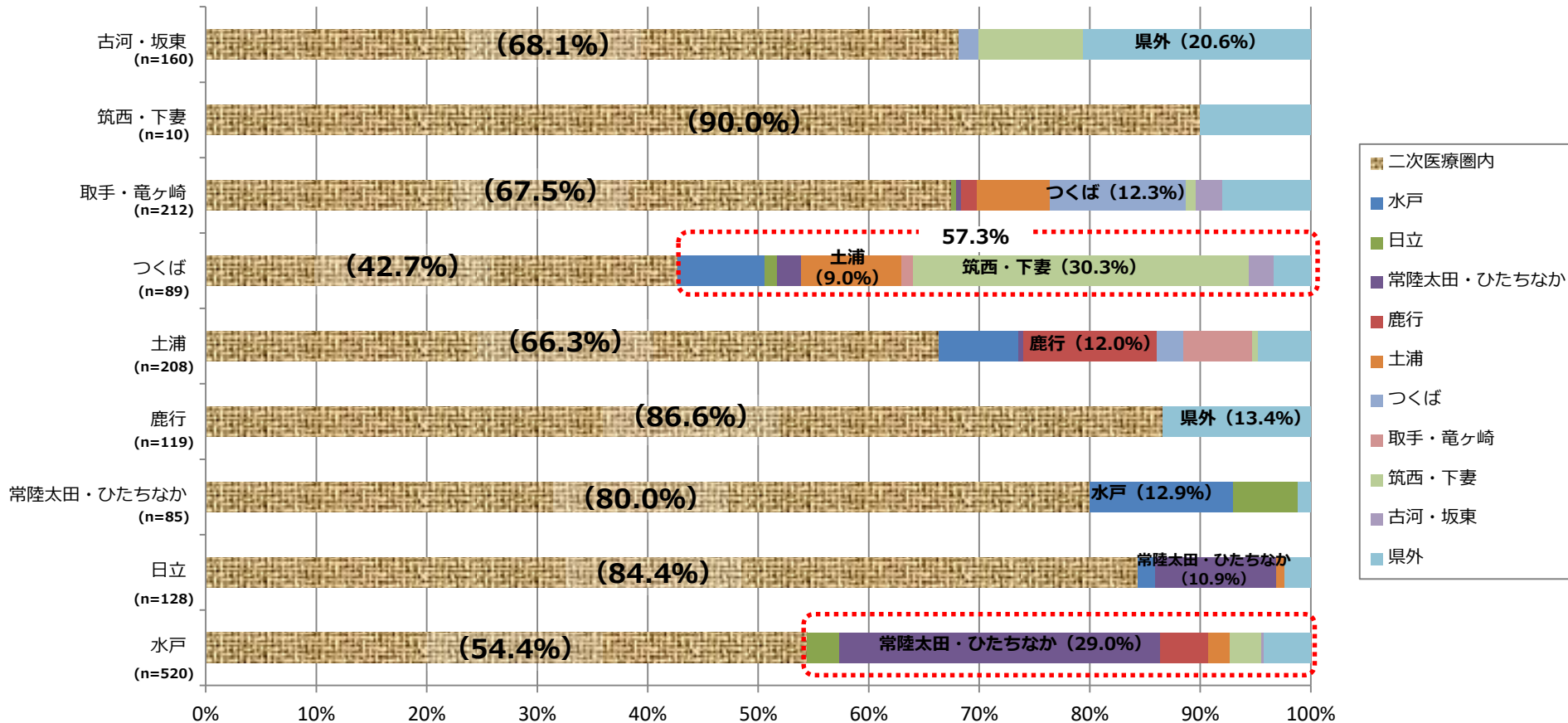
# 虚血性心疾患：入院 (n=1,531)

- ◆つくばの医療機関には、土浦、筑西・下妻などから6割近い患者が流入している。
- ◆水戸も比較的他の医療圏からの流入が多く、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。
- ◆古河・坂東では、県外からの流入も見られる。
- ◆筑西・下妻では他医療圏からの流入はほとんど見られなかった。

※全体の母数が少ないので、あくまでも参考値として考慮する必要がある。

【医療機関の所在地域】

【患者の居住地域】

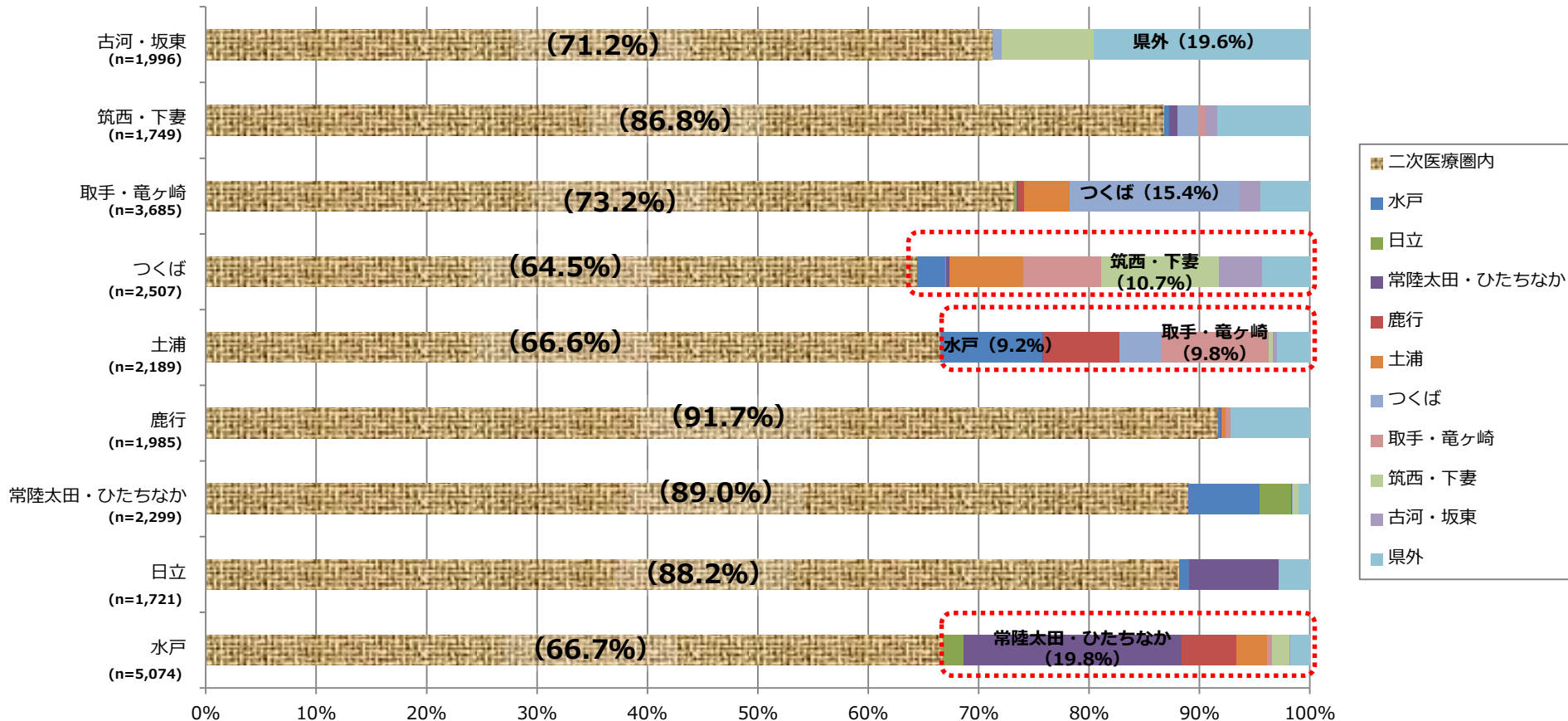




- ◆つくば、土浦、水戸では他の医療圏からの流入が多く、つくばでは筑西・下妻から、土浦では水戸や取手・竜ヶ崎から、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。
- ◆取手・竜ヶ崎ではつくばから、古河・坂東では県外からの流入も見られる。

【医療機関の所在地】

【患者の居住地】

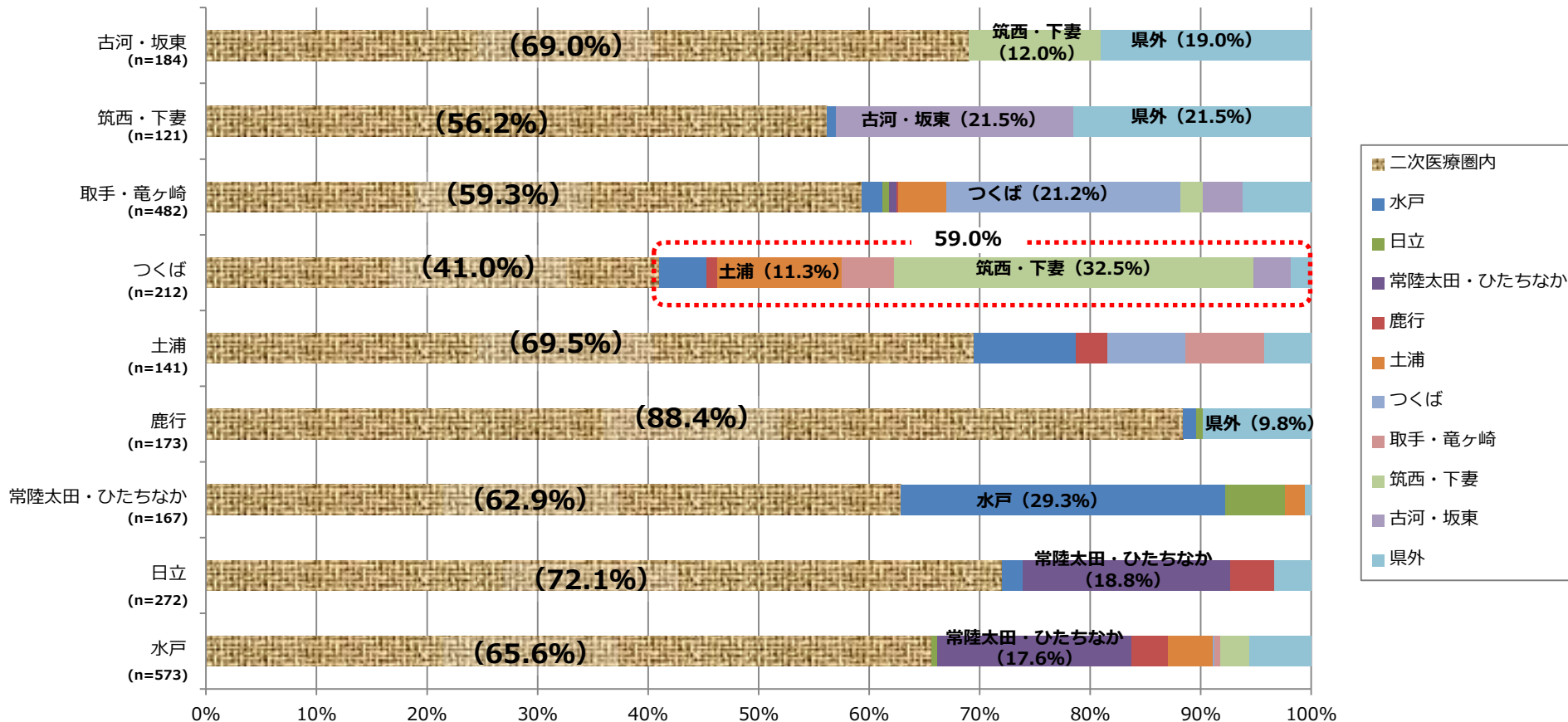


◆ 鹿行以外では流入の傾向が強いなか、特につくばでは約6割近くが他医療圏から流入しており、そのうち筑西・下妻からの流入は半数近くを占める。

◆ 古河・坂東では県外から、筑西・下妻では古河・坂東と県外から、取手・竜ヶ崎ではつくばから、常陸太田・ひたちなかでは水戸から、日立、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。

【医療機関の所在地】

【患者の居住地】

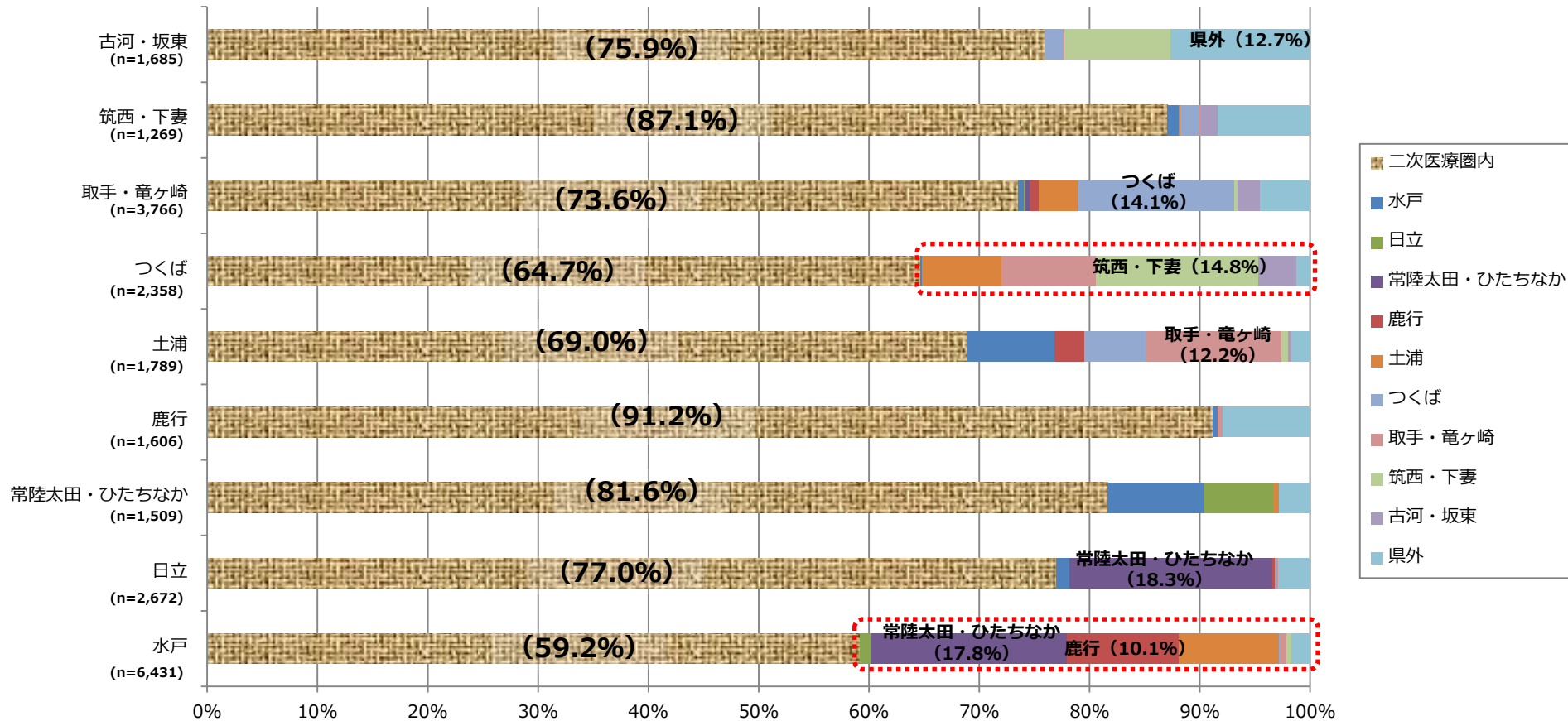




- ◆つくば、水戸の医療機関では他医療圏からの流入が多い傾向にあり、つくばでは筑西・下妻から、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。
- ◆古河・坂東では県外から、取手・竜ヶ崎ではつくばから、土浦では取手・竜ヶ崎から、日立では常陸太田・ひたちなかからの流入が多数を占める。

【医療機関の所在地】

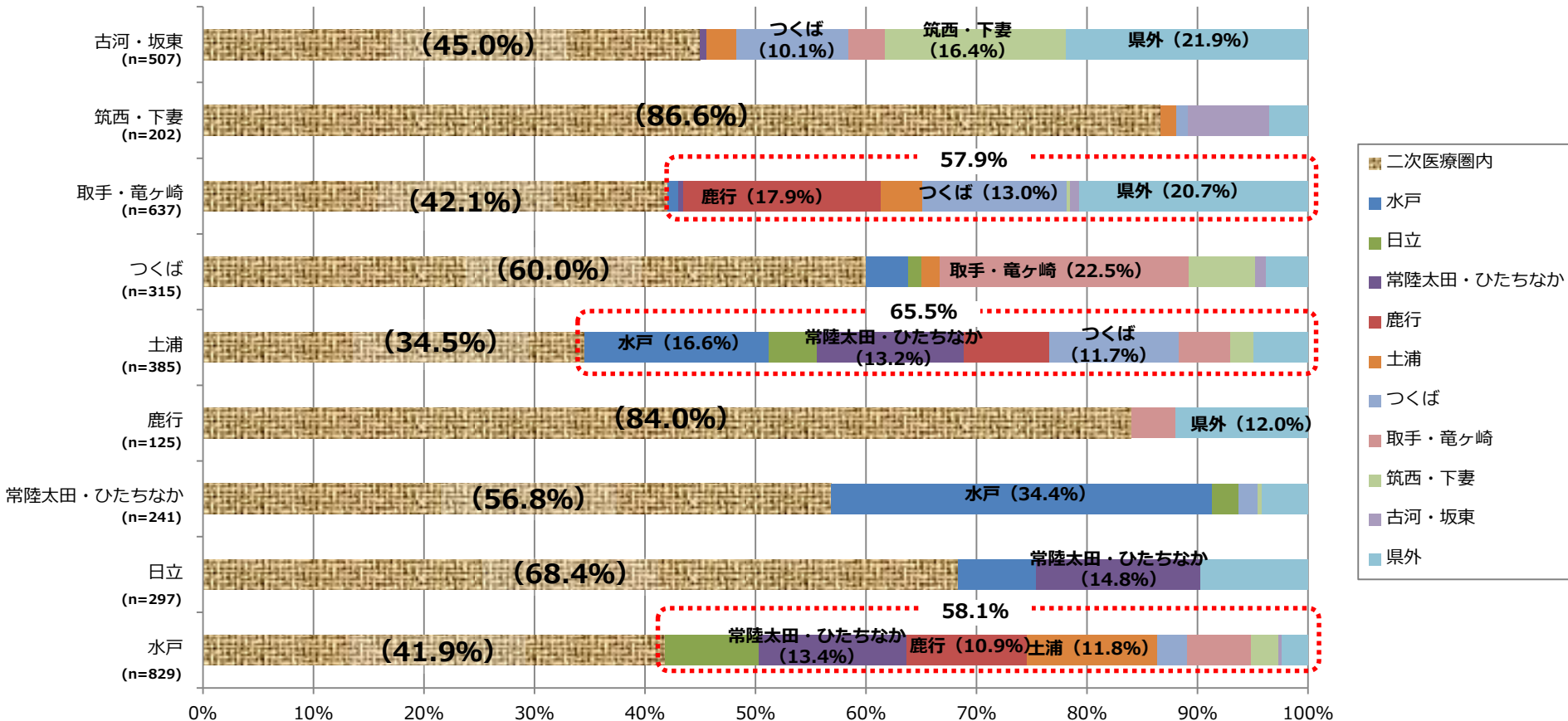
【患者の居住地】



- ◆ 筑西・下妻以外、全体的に流入傾向にあり、取手・竜ヶ崎と土浦、水戸では約6割を占める。
- ◆ 古河・坂東、取手・竜ヶ崎、鹿行の医療機関は県外からの流入が多い。
- ◆ つくばでは取手・竜ヶ崎から、常陸太田・ひたちなかでは水戸から、日立では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。

【医療機関の所在地】

【患者の居住地】



◆ 筑西・下妻、鹿行以外では他医療圏からの流入が多い傾向にあり、つくばでは約半数を占める。

◆ 古河・坂東では県外からの、つくば、土浦では取手・竜ヶ崎からの、常陸太田・ひたちなかでは水戸からの、日立、水戸では常陸太田・ひたちなかからの流入が目立つ。

【医療機関の所在地域】

【患者の居住地域】

